

4カ大字勸業委員が要望書提出

6月9日、菅生・大西・春日・広代の4カ大字勸業委員連名で、森中村長に要望書が提出されました。

大規模太陽光発電計画は5つの懸念があり、計画に反対であることを述べ、農業用水を守るため、営農者への支援を行っていただきたいと要望、3人が参加しました。

応対した森中村長から「県と山添村からの事前協議の事項について、事業者からは何の回答もない。その中には農業への対策も入っている。多くの村民が反対しているものを進めることはしない」と回答がありました。

「勸業委員との協議も 事前協議のひとつ」を確認

懇談の中では、馬尻山は「緑のダム」、洪水や濁水を和らげ土砂崩れを防ぐだけでなく、近年稲荷川でホテルが飛び交うようになり、みんなの努力で川がきれいになった。地域住民に安らぎの場を与えてくれている馬尻山を大切にしていこうと話合いました。

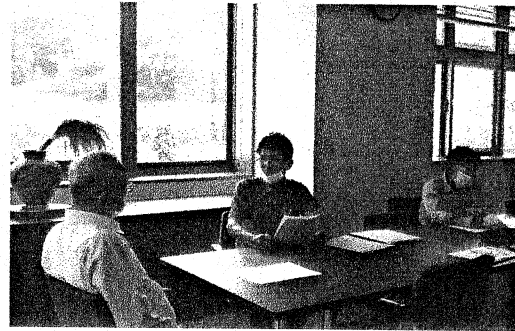


そして、事前協議には「開発地からの排水方法等について区長、勸業委員等と協議すること」が含まれている点も確認。村長は「これは当然のこと。しかし、事業者からは何の回答もない」と話がありました。

水道水源保護審議会開催される

日時 6月24日(水) 午後2時

場所 役場3階会議室



村長に要望書提出後、懇談

6月村議会

向井村議と太田村議が質問

6月村議会では、向井村議と太田村議がメガソーラー問題で質問しました。

向井村議は「水源涵養林を保全することが重要ではないか」「馬尻山の希少動物などが生息しており、村の自然環境保護の方策は？」と質問。

太田村議は「開発による水資源への悪影響を懸念される迷惑施設の設置には、限りなく高いハードルをかけるような村の条例が必要ではないか」と質問しました。

6月13日付けの新聞全紙に「会」の

ビラ NO.2を折り込みました。

早速「ビラを見てよくわかりました」「会合に主人が行っても報告してくれませんから…」など反響が寄せられています。